

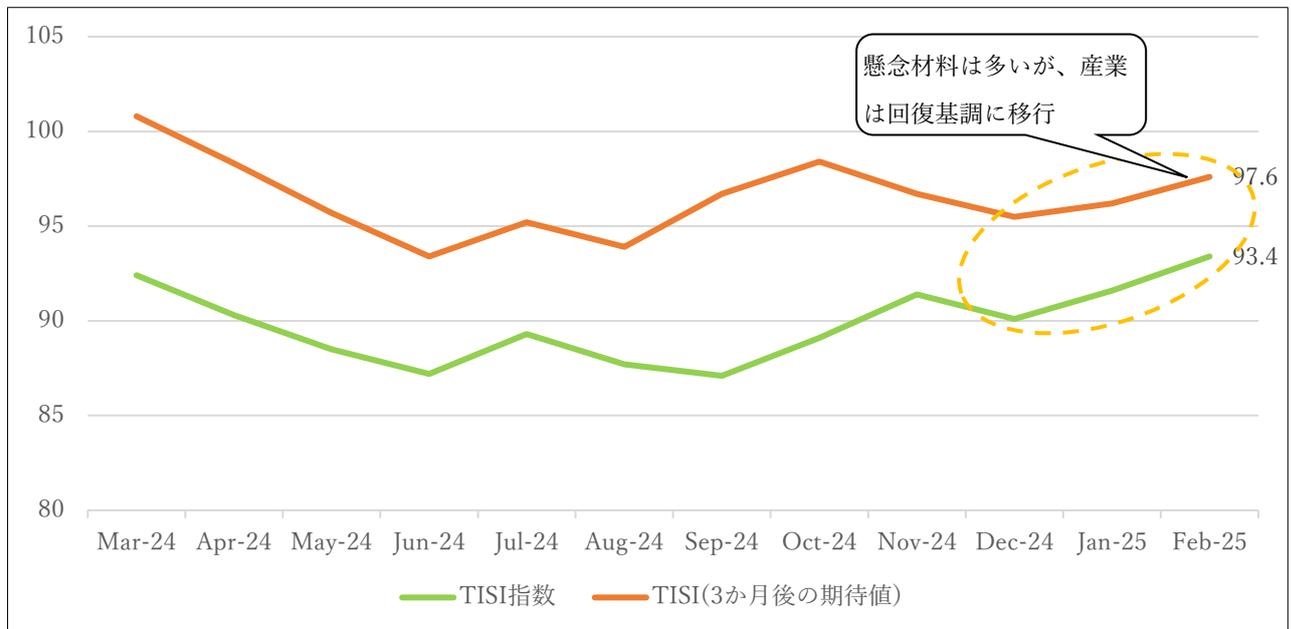
# タイ経済指標斜め読み

(2025年3月版)

ビジネスサポート部  
加藤義人  
kato@mat.co.th

## 1. 【指数データ：産業指数】

タイ工業連盟（FTI）は、2月の産業景況感指数（TISI：Thai Industries Sentiment Index）を発表した。同指数は同月ならびに3か月後の期待値（5月）を予想したものとなり、指数0—200の範囲で100を安定とし、良くなった悪くなったを示している。調査はFTIの47産業部門を対象に行ったもの。

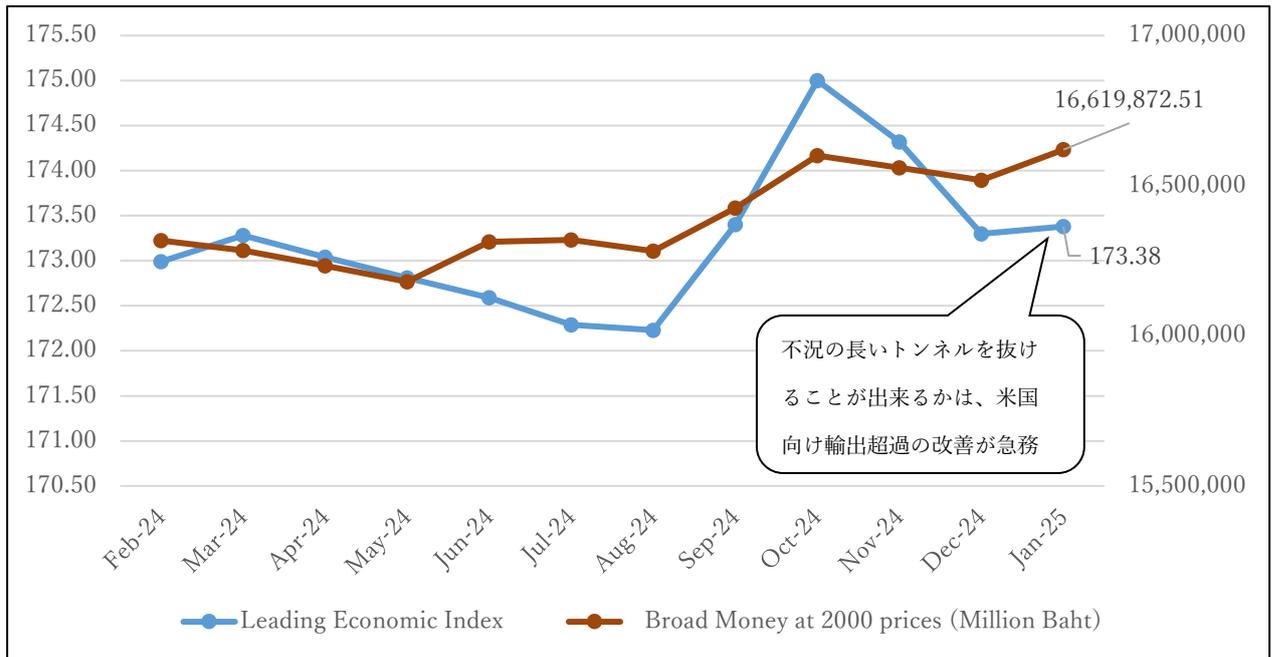


2月のTISIは93.4となり、安定の100を超えることはないが、2カ月連続で改善している。また、3か月後の期待値は97.6となり、こちらも2カ月連続で改善となった。FTIはこの状況に関して、全産業で改善の傾向となった事と、操業費用の低下、中央銀行の金利引き下げ、景気刺激策、予算の執行（インフラ方面）、観光業収入増、陸路国境貿易の増加などを要因に上げている。一方、自動車生産・販売台数の落ち込み、天候不順、米国の輸入関税への影響懸念、ウクライナ問題、中国からの安価な製品の流入などの問題が懸念材料として挙げられた。米国の輸入関税の影響が今後気になるところだが、数カ月以内には100を超える可能性が出てきた。

出所：<https://fti.or.th/>

## 2. 【指数データ：先行経済指数】

タイ中央銀行は、1月の先行景気指数（LEI：Leading Economic Index）を発表した。



**景気先行指数**：将来の経済の方向性を予測するために使用されます。LEIは、株価、建設許可、新規企業投資額、重油価格、Broad Money、輸出数量指数など、経済全体の変動よりも前に変動するいくつかの個別の指標から成る複合指数で構成。

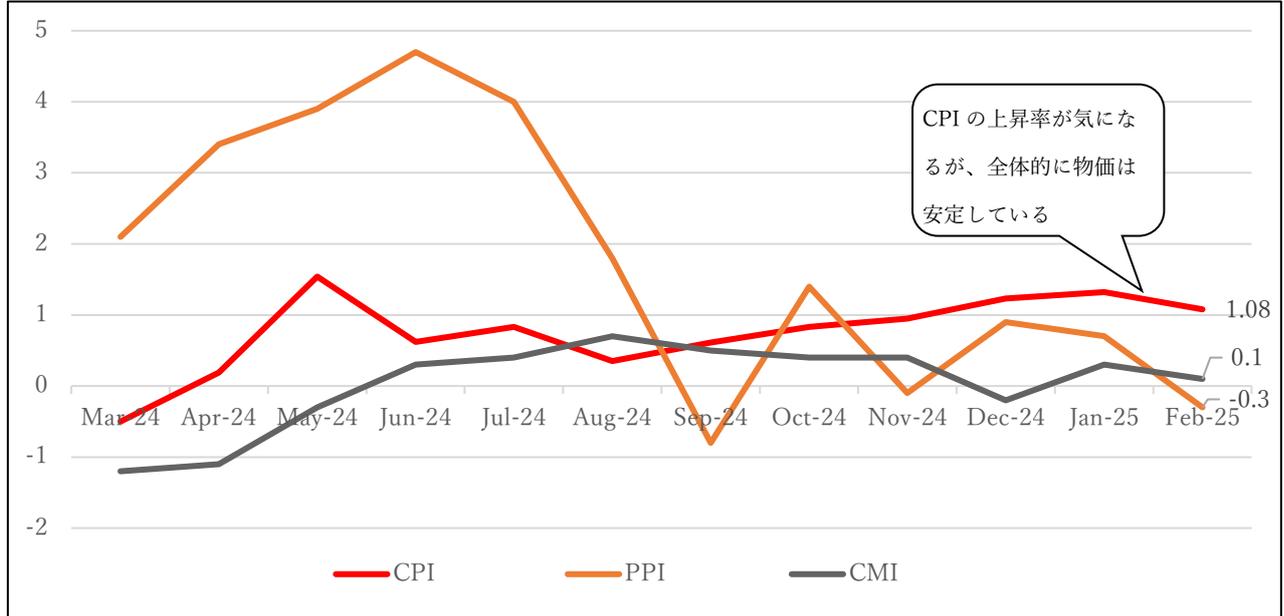
**Broad Money**：一般法人や個人などの通貨保有主体が保有する現金通貨や預金通貨などの通貨量の残高である。

1月のLEIは173.38となり、前月から微増となった。Broad Moneyは16兆6千億THBとなり、こちらも前月から増加した。TISIの指数と同様に、1月から各産業景気指数が上昇に転じている事が伺える。一番の懸念点は米国の輸入関税が与える影響だと思われるが、自動車の米国向けは少量であり、他の輸出国も同様の関税がかけられるため、状況に大きな変化はないと思われる。とは言え、タイは米国向け輸出では世界11番目の取引国で、輸出超過の状態が継続している。タイ政府は貿易不均衡を改善するための施策を急ぐ必要がある。

出所：<https://bot.or.th/>

### 3. 【指数データ：物価指数】

タイ商務省貿易政策戦略局（TPSO）は、2月の物価指数（消費者物価指数：CPI、生産者物価指数：PPI、建設資産物価指数：CMI）の上昇率を発表した。下記のグラフは前年同月比となる。



2月のCPIは、+1.08%、PPIは-0.3、CMIは+0.1となった。CPIの上昇では、主に食品とノンアルコール製品の値上げが要因となった。PPIのマイナス要因としては、農業製品の価格下落、化学品、加工食品、コンピューター製品の価格下落となった。CMIは、輸送コスト増の影響で製品価格に影響を及ぼす結果となった。全体的に、上昇は低位に収まっており、物価上昇は安定している模様。

出所：<https://tpso.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。